

科目名 (英)	障害の理解B ( Study of Disorder B )	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
<b>【授業の学習内容】</b> 障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得することができる。また連携と協働、家族への支援についての必要性や重要性を理解する。更にチームアプローチについては具体的な事例等も取り入れて理解を深めることができる。 ※実務者経験:医療機関に所属していた。主業務は内科及び整形外科部門を担当していた。※取得資格:看護師							
<b>【到達目標】</b> ※障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点などが理解できるようになる。 大目標・・・「障害の基礎的理解」、「障害の医学的側面の基礎的知識」、「連携と協働」、「家族への支援」について理解できる。 中目標・・・「障害のある人に対する介護の基本的視点」、「社会資源の利用と開発」、「家族への支援」、「連携と協働」、「障害のある人に対する応用介護」について理解できる。							

授業計画・内容	
1回目	「授業の概要」…授業概要説明。障害者ケアの実際と対応方法の概要について理解できる。
2回目	「障害のある人に対する介護の基本的視点①」…自己決定とケアワークにおけるエンパワメントの概念について理解できる。
3回目	「障害のある人に対する介護の基本的視点②」…障害のある人の権利擁護について理解できる。
4回目	「基本的視点に基づいた個別支援①」…障害のある人の生活ニーズについて理解できる。
5回目	「基本的視点に基づいた個別支援②」…障害のある人の生活ニーズについて、事例を交えながら理解できる。
6回目	「基本的視点に基づいた個別支援③」…障害のある人の生活ニーズについて、事例に基づく個別支援の展開方法が理解できる。
7回目	「社会資源の利用と開発」…福祉用具と居宅支援を用いた自立支援について理解できる。
8回目	「家族への支援①」…家族への支援(障害受容の過程での支援など)について理解できる。
9回目	「家族への支援②」…家族の介護力の評価とレスパイトケアについて理解できる。
10回目	「連携と協働①」…地域におけるサポート体制の構築と連携について理解できる。
11回目	「連携と協働②」…保健・医療・福祉・教育・労働サービスの連携について理解できる。
12回目	「連携と協働③」…障害者ケアを支える多職種連携について理解できる。
13回目	「連携と協働④」…地域自立支援の連携とインフォーマル支援ネットワークについて理解できる。
14回目	「障害のある人に対する応用介護①」…障害者の訓練を取り入れた介護(就労支援など)について理解できる。
15回目	「障害のある人に対する応用介護②」…障害者の訓練を取り入れた介護(自立生活など)について理解できる。
準備学習 時間外学習	準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。
評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>  教科書: 新・介護福祉士養成講座⑬「障害の理解」(中央法規出版)	